

●あい愛バス全路線（路線ごと）の検証（考察）

路線名	R3検証（考察）
全路線共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤ改正（R2.10.1）により利便性が向上（一部ルート延長及びバス停増設、地域線昼間便追加など）したことで利用が増加。 ・利用促進として、市内の3高校にPRチラシを配布したことで高校生の利用が増加。 ・新型コロナウイルス・ワクチン接種促進により安心感と外出機会が高まったことで利用が増加 ・下記の原因により利用が減少 <ul style="list-style-type: none"> * コロナ禍第3波の影響による総合福祉会館の休館（R2.12～R3.3） * コロナ禍第4波の影響による高校の休校（R3.6） * コロナ禍第5波の影響による高校の分散登校（R3.8～9）、総合福祉会館の休館（R3.9）
あまちの森・しょうよう線 (地域内フィーダー国庫補助系統)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の定着に加え、新規の利用も増えたことで、全体では利用が増加。R1利用者（過去最高）と比較し、これを大きく上回る。 ・高校への通学のため、乗り継ぎ等の拠点となる「美濃太田駅」バス停の利用が大きく増加した他、買物のため、商業施設付近となる「八坂」「オークワ坂祝店」バス停の利用が増加。また、ワクチン集団接種会場への来場のため、「西体育館」バス停の利用も増加。 ・一方、コロナ禍により、まだ外出を控える方もおり、利用が落ち込んでいるバス停がいくつかある。
むくの木・そうきち線	<ul style="list-style-type: none"> ・利用は定着しているが、他路線と比較すると伸びがない。R1利用者（過去最高）と比較し、これを若干下回る。 ・高校への通学のため、「古井駅」バス停の利用が増加。 ・一方、コロナ禍により、まだ外出を控える方もおり、利用が落ち込んでいるバス停が多くある。
フルーツ山之上線 (地域内フィーダー国庫補助系統)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の定着に加え、新規の利用も増えたことで、全体では利用が増加。R1利用者（過去最高）と比較し、これを大きく上回る。 ・高校への通学のため、乗り継ぎ等の拠点となる「美濃太田駅」バス停の利用が大きく増加した他、同様に「美濃加茂高校グラウンド」バス停の利用が大きく増加。また、買物のため、「駅北商業団地」「食品スーパーアルビス」バス停の利用が増加。 ・一方、コロナ禍により、まだ外出を控える方もおり、利用が落ち込んでいるバス停がいくつかある。特に「総合福祉会館」バス停は、施設の休館の影響もあり、利用が減少。
フルーツ蜂屋線 (地域内フィーダー国庫補助系統)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の定着に加え、新規の利用も増えたことで、全体では利用が増加。R1利用者（過去最高）と比較し、これを上回る。 ・高校への通学のため、乗り継ぎ等の拠点となる「美濃太田駅」バス停の利用が大きく増加。 ・一方、コロナ禍により、まだ外出を控える方もおり、利用が落ち込んでいるバス停がいくつかある。
さとやま線 (地域内フィーダー国庫補助系統)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の定着に加え、新規の利用も増えたことで、全体では利用が増加。R1利用者（過去最高）と比較し、これを上回る。 ・買物のため、「駅北商業団地」バス停の利用が増加。 ・一方、コロナ禍により、まだ外出を控える方もおり、利用が落ち込んでいるバス停がいくつかある。
ほたる線	<ul style="list-style-type: none"> ・利用は定着しているが、他路線と比較すると伸びがない。R1利用者（過去最高）と比較し、これを若干下回る。 ・買物のため、「食品スーパーアルビス」バス停の利用が増加。 ・一方、コロナ禍により、まだ外出を控える方もおり、利用が落ち込んでいるバス停が多くある。
古井駅－可児川駅線	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の定着に加え、新規の利用も増えたことで、全体では利用が増加。R1利用者（過去最高）と比較し、これを大きく上回る。 ・高校への通学のため、乗り継ぎ等の拠点となる「美濃太田駅」バス停の利用が増加した他、同様に「美濃加茂高校」バス停の利用が大きく増加。 ・一方、コロナ禍により、まだ外出を控える方もおり、利用が落ち込んでいるバス停がいくつかある。
まちなかぐるっと線	<ul style="list-style-type: none"> ・利用は定着しているが、他路線と比較すると伸びがない。R1利用者（過去最高）と比較し、これを若干下回る。 ・ダイヤ改正（R2.10.1）により新たにルートを延長し経由地を増やしたことで、乗り継ぎ等の拠点となる「美濃太田駅」バス停の利用が増加した他、買物のため、「MEGAドン・キホーテUNY美濃加茂店」「食品スーパーアルビス」バス停の利用が増加。 ・一方、コロナ禍により、まだ外出を控える方もおり、利用が落ち込んでいるバス停が多くある。特に「総合福祉会館」バス停は、施設の休館の影響、「木沢記念病院」バス停は、コロナ禍による通院見送りの影響もあり、利用が大きく減少。
3公園連絡線	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の定着に加え、新規の利用も増えたことで、全体では利用が増加。R1利用者（過去最高）と比較し、これを上回る。 ・ダイヤ改正（R2.10.1）により既存路線を見直し、地域線との乗り継ぎやすさを改善するとともに新たにルートを延長し経由地を増やしたことで、乗り継ぎ等の拠点となる「美濃太田駅」バス停の利用が増加。 ・一方、コロナ禍により、まだ外出を控える方もおり、利用が落ち込んでいるバス停がいくつかある。特に「ぎふ清流里山公園」バス停は、各種イベントの中止により、利用が大きく減少。